

2/18

土脉潤起（つちのしょううるおいおこる）雪が雨に変わり大地をうるおす頃。二十四節気は雨水を迎えます。まだまだ寒い日が続く、暖かさなど微塵も感じられないこの頃ですが、雪から雨に変わった水が命を吹き込み、やがて新緑が芽吹くようになります。依然として、感染者の数は多い状態で推移していますが、少し減少の傾向も見えます。今週も落ち着いた状況で金曜日を迎えました。お昼休みには中庭で「だるまさんがころんだ」に興じる子供たちの姿も。さて、本日は5年生総合の学習、ゲストティーチャーとして後藤林業の後藤さんをお迎えしました。感染症対策のため後藤さんには別室からオンラインで、1, 2組の教室へお話していただきました。植林のお話や九州のいくつかの神社の杉の遺伝子が同じことから杉の兄弟のお話など興味深いお話を聞くことができました。学校への来校者は必要最小限にしておりますが、このような形でもお話を聞く機会を作っていきたいと思っております。「雨水」は命の芽吹きを感じさせますが、この頃に雛人形を飾るとよいと言われています。ちなみに今年明日19日が「雨水」。一歩ずつ春に近づきます。校長 井